



アジアのUHC実現を目指して いまなにができるか

—Covid19時代のアジアのがん医療連携のありかた



10月24日(土) 10:20-11:50

第5会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)

野田 哲生

UICC日本委員会委員長
がん研究会がん研究所所長



司 会



吉田 和弘

UICC日本委員会幹事
日本癌治療学会国際委員長
岐阜大学病院長

シンポジスト

河原ノリエ

UICC日本委員会広報委員長
東京大学大学院情報学環
学際情報学府特任講師



1
Covid19時代の
UHC政策におけるUICC



武見 敬三

参議院議員

2

アジア健康構想とがん
アジア医薬品・医療機器
規制調和推進に向けた提言

中釜 斉

UICC日本委員会幹事
日本癌学会理事長
国立がん研究センター理事長



3
アジア健康構想における
開発に向けた
がんセンターの取り組み



土岐 祐一郎

日本癌治療学会理事長
大阪大学医学部医学系研究科
外科学講座消化器外科学教授

4

アジアにおける
JSCOの役割とUICC

大割 慶一

KPMGヘルスケアジャパン
代表取締役



5

アジアヘルスケアマーケットの
潮流